

でんさい[®]利用企業からの事例紹介

2018年7月9日



五島軒

※「でんさい[®]」は、株式会社全銀電子債権ネットワークの登録商標です。

目次

1. 企業概要
2. 事業紹介
3. でんさい導入に向けたプロセス
4. 導入に際しての懸念と解消策
5. でんさいのメリット
6. でんさいの問題点と弊社の課題の改善点

1. 企業概要

- 商号 株式会社五島軒
- 代表者 代表取締役社長 若山 直
- 本社住所 北海道函館市末広町4-5
- 事業内容 飲食店経営・食品製造販売 他
- 売上高 12億9千万円（平成29年6月期実績）
- 従業員数 122名
- 事業所 本店（レストラン雪河亭、宴会場）
製造工場（北斗市第1・第2工場）
函館カレーEXPRESS五稜郭タワー店
函館市内直営販売店3店舗

2. 事業紹介

- ・創業明治12年、フランス料理中心の西洋料理店
- ・本館は国の登録有形文化財に指定、各種宴会・婚礼等の受注など地元はもとより、函館を訪れる国内外のお客様には、観光スポットとしても好評
- ・平成5年及び9年、北斗市に2つの工場を建設
「レストランの味をそのままに」をコンセプトとした自社ブランド製品として、洋菓子・カレー缶詰・レトルトカレーなどを製造販売し、販路は全国に及ぶ

2. 事業紹介

- 函館市内店舗としては、レトロモダン＆カジュアルなレストランである函館カレーEXPRESS五稜郭タワー店、自社製品ショップのpromielカモイ十字街店、イオン上磯店、イトーヨーカドー函館店の計4店舗を営業
 - 平成27年9月には、老舗レストランとバル形態の居酒屋を融合させた全く新しいコンセプトの店舗として、「洋食バル函館五島軒」を株式会社伸和ホールディングス様との共同経営という形でオープン
- 現在、札幌3店舗、大宮1店舗の計4店舗を展開中

3. でんさい導入に向けたプロセス

手形の取扱いはわずかだが、取引銀行の勧めで導入

時期	実施内容
2013年2月	でんさいの取扱いがスタート
2013年9月	でんさいの利用契約を締結
2015年12月～	社内体制の整備、取引先への案内
2016年7月	でんさいでの支払いを開始
2017年6月	でんさいへの移行を完了(支払手形: 3先⇒0先)

4. 導入に際しての懸念と解消策

社内よりも取引先の対応に懸念 取引銀行が協力

想定される懸念事項	弊社の場合	
	影響度※	解消策(結果)
手形とでんさいの二重管理	小	手形と振込の違いと大差ないと割り切り
会計システムの改修費用	無	会計処理に変更なく、不要
業務フローの認識相違	小	取引銀行に手続きを確認
未習熟業務に伴うミス発生	小	件数少なく、リカバリーが十分可能
取引先が対応できない	大	取引銀行が説得、発生をFAXで案内

※ 「大、中、小、無」の4段階で表現

5. でんさいのメリット

取扱いが少なくても、事務手間やリスクが削減

- 作業が楽…パソコンへの入力のみで、押印等が不要
- 作業日程の拘束が緩和
 - …発生日よりも前に予約操作が可能
- さらに、紛失リスクが削減
 - …手形の現物に加え、領収書の受領・管理も不要に
- 金銭メリットも…取扱量が少ないのでわずかだが
- （自分たちは無いが）受取は期日入金を待つだけ

6. でんさいの問題点と弊社の課題の改善点

でんさいの利便性等に関する周囲の理解が必要

【でんさいの問題点】

- パソコンに不慣れな方には抵抗感
⇒でんさいネットや金融機関の今後の活動に期待

【弊社の課題の改善点】

- でんさい導入当初は、発生時に当社よりお取引先へ
FAX案内をしていたが、パソコン操作にもそろそろ
慣れてきたこともあり、FAX案内を取り止めること
について、お取引先の理解を得られつつある。
⇒今後も事務手間削減についてお取引先の理解を求める

ご清聴ありがとうございました。



五島軒